

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(夜間部イラストレーション科)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
講義	特別講義・ホームルーム	240					
演習	イラストレーションⅠ	120	○	120			
演習	デッサンⅠ	120	○	120	☆	120	
実技	キャラクターデザイン	120	○	120	☆	120	
演習	デジタルイラスト	120	○	120			
演習	コミックイラストⅠ	120	○	120			
実技	イラストレーションⅡ	120	○	120			2022年度より開始
演習	デッサンⅡ	120					2022年度より開始
実技	イメージワーク	120	○	120			2022年度より開始
実技	デザインワーク	120	○	120			2022年度より開始
実技	(選択)イラストレーションⅢ	60	○	60			2022年度より開始
実技	(選択)コミックイラストⅡ	-	○	-			2022年度より開始
実技	(選択)イラストレーションゼミ	60	○	60			2022年度より開始
実技	(選択)コミックイラストゼミ	-	○	-			2022年度より開始
総授業時数		1,440		1,080		240	
卒業に必要な授業時数		1,440					

2021

区分

必修

対象

Ⅱ部IL科1年

科目名	デッサンⅠ			
開講期	前後期		時間数	3H
講師名	原 広信			
授業概要	<p>【授業内容】 前期に鉛筆によるデッサンの基本を育成し、後期には鉛筆による下描きに透明水彩絵の具を使用した水彩画の制作を通して、描画力・表現力を養うことを目的とする。コロナ禍を考慮して対面&オンライン授業を考慮して、学生の身近な物や自宅などの空間で描けるモチーフを設定する。また、就活用ポートフォリオに活用できる課題制作を行う。 対面の授業内容をオンラインでも復習できるWEBコンテンツを提供する。</p> <p>【到達目標】 鉛筆の中心にしたデッサン力、水彩絵具による描画力を育成することにより、デジタルでのイラストの表現力を高めることを目的とする。</p>			
授業計画	回数	主題・目的	概要	持参物
前期	1	オリエンテーション	デッサンとグラデーションについて・グレーグラデーション作成	水彩絵具、鉛筆セット、練りゴム、45定規、マスキングテープ
	2	デッサン	形態だけデッサン・長方体（ティッシュ箱）・円筒形（350ml 缶に紙巻）	デッサン用具一式・ティッシュ箱・350ml 缶
	3	↓	デッサン・長方体/ティッシュの箱・パッケージの文字の描写説明	デッサン用具一式・ティッシュ箱
	4	↓	デッサン・円柱体/ジュース缶・パッケージの文字の描写説明	デッサン用具一式・350ml ジュース缶
	5	↓	リンゴとティッシュペーパーのデッサン	デッサン用具一式・りんご・ティッシュペーパー
	6	↓	透明なガラスのコップのデッサン	デッサン用具一式・透明なコップ
	7	↓	500ml ペットボトルと手鏡のデッサン	デッサン用具一式・500ml ペットボトル・平たい手鏡
	8	↓	前回モチーフのデッサン仕上げ→提出	前回と同じ
	9	水彩デッサン	「バナナ」の水彩デッサン・三原色彩色の基礎知識・三原色による彩色作業	デッサン用具一式・透明水彩用具一式・バナナ房
	10	水彩デッサン	「器に水とリンゴ」の水彩デッサン・下描きデッサン作業	デッサン用具一式・透明水彩用具一式・りんご・カレー皿
	11	↓	「器に水とリンゴ」の水彩デッサン・着彩仕上げ→提出	前回と同じ
	12	水彩デッサン	「ハンガーにワイシャツ」デッサン下描き・三原色による彩色作業	水彩デッサン用具一式・透明水彩用具一式・ハンガー・ワイシャツ
	13	↓	「ハンガーにワイシャツ」彩色作業	前回と同じ
	14	↓	「ハンガーにワイシャツ」の水彩デッサン・着彩仕上げ→提出	前回と同じ
	15	予備日	これまでの課題について、ポートフォリオ素材アドバイス等	
後期	1	静物描写着彩	静物デッサン着彩（1）__背景なし・鉛筆による下描き作業	鉛筆セット・練りゴム・B4水彩紙・筆記用具
	2	↓	三原色による彩色作業	水彩絵具セット・鉛筆・練りゴム
	3	↓	仕上げ着彩→課題提出・次回課題の説明	水彩絵具セット・鉛筆・練りゴム
	4	静物描写着彩	静物デッサン着彩（2）__背景あり・三原色による彩色作業	鉛筆セット・練りゴム・B4水彩紙・筆記用具
	5	↓	三原色による彩色作業	水彩絵具セット・鉛筆・練りゴム
	6	↓	仕上げ着彩→課題提出・次回課題の説明	水彩絵具セット・鉛筆・練りゴム
	7	風景描写着彩	風景デッサン着彩パース（1）・風景パースの基礎知識講義・鉛筆による下描き作業	鉛筆セット・練りゴム・B4水彩紙・45cm定規
	8	↓	鉛筆による下描き作業継続	水彩絵具セット・鉛筆・練りゴム・45cm定規
	9	↓	三原色による下塗り作業	水彩絵具セット・鉛筆・練りゴム
	10	↓	仕上げ着彩→課題提出成・次回課題の説明	水彩絵具セット・鉛筆・練りゴム
	11	風景描写着彩	風景デッサン着彩パース（2）・鉛筆による下描き作業	鉛筆セット・練りゴム・B4水彩紙・45cm定規
	12	↓	鉛筆による下描き作業継続	水彩絵具セット・鉛筆・練りゴム・45cm定規
	13	↓	三原色による下塗り作業	水彩絵具セット・鉛筆・練りゴム
	14	↓	仕上げ着彩→課題提出成	水彩絵具セット・鉛筆・練りゴム
	15	↓	予備日・ポートフォリオ用課題アドバイス等	仕上げ提出課題
評価方法	出席・課題提出状況で評価			
テキスト 参考書	資料は授業で提供			

2021

区分

必修

対象

Ⅱ部IL科1年

科目名	キャラクターデザイン			
開講期	前後期	時間数	3H	
講師名	いとう みちろう			
授業概要	アニメ、マンガ、ゲーム、文具、地域のゆるキャラ、あるいは、商品や団体び Mascot 等、それぞれにキャラクターデザインがあるが、キャラクターはその利用される「媒体に合っている」ことが重要。本講義ではさまざまなメディア、状況を想定して、魅力的かつ人に伝わるキャラクターを生み出すために、実践的な力を身に付けることを目標とする。一方で、ただキャラクターデザインのためのだけの講座では無く、イラストレーションやデザインの分野で、幅広く活用・応用できるスキルの習得を目指す。			
授業計画	回数	主題・目的	概要	持参物
前期	1	お題でキャラデザ	自己紹介、オリエンテーション、お題でキャラデザ	ペン類
	2	キャラデザ	シルエットのバリエーションを意識して、媒体を自ら設定し10体のキャラクターを制作	前の授業で説明
	3	キャラデザ	ラフ、制作（座学・姿勢、アングル）	
	4	キャラデザ	制作	
	5	キャラデザ	制作	
	6	キャラデザ	制作・発表	
	7	Gifアニメ	簡単なgifでキャラクターを動かす	パソコン
	8	Gifアニメ	gif続き	
	9	クロッキー	コスプレ・・・とまでは言わないけれど、キャラを意識した衣装でクロッキー	
	10	クロッキー	同上 コスプレ的クロッキー	
	11	絵本を作る	児童書を想定してキャラクター考え、4見開きの絵本を作る 主人公	好きな絵本一冊
	12	絵本を作る	ラフの制作	
	13	絵本を作る	制作	
	14	絵本を作る	制作	
	15	絵本を作る	製本・発表（読み聞かせ）	
後期	1	キャラクターグッズ	印刷会社のテンプレートを参考に、あるいは手作りでキャラクターグッズを制作 企画案作り	
	2	キャラクターグッズ	制作	
	3	キャラクターグッズ	制作	
	4	キャラクターグッズ	制作・発表	
	5	Live2dキャラ制作	近年Vtuber界等で話題のLive2dで2.5次元の半3Dのオリジナルキャラクターを制作	パソコン
	6	Live2dキャラ制作	制作	
	7	Live2dキャラ制作	制作	
	8	Live2dキャラ制作	制作	
	9	Live2dキャラ制作	制作・発表	
	10	パッケージ用キャラ	座学：サンリオ、くまモン、オリンピック Mascot 制作	
	11	パッケージ用キャラ	制作	
	12	3Dキャラ	無料の3Dソフトを用いてごくごく簡単なキャラクターの制作を行う	
	13	3Dキャラ	制作	
	14	3Dキャラ	制作	
	15	3Dキャラ	発表・総評	
評価方法	出席、態度、意欲、制作物、提出			
テキスト 参考書				